

言い換えマーカの記述試案

—言い換え行為の体系的理解を目指して—

小野正樹（筑波大学）

要 旨

本研究では、日本語の言い換え方法の体系の記述を行う。語彙的、統語的、そして語用論的言い換えの区別を主張し、言い換えマーカを辞書記述の見出し語と説明から9種類に分類した。言い換えの目的として、①内容の部分的言い換え、②内容の包括的言い換え、③内容の例示的言い換え、④内容の修正的言い換えの4種類に分け、加えて、⑤メタ的に言い換えが行われていることを指摘する。

キーワード：言い換えマーカ、語用論的言い換え、等価、メタ的言い換え

1. はじめに

言い換えという行為は日常的に行われるもので、話者自身が発話を続けながら行うこともあるし、あるいは、聴者が聞き返したり、回答したり、確認するなどの場合にも行われるものである。初めに辞書の記述「言い換え」を見たい。

①他のことばで言う。言いなおす。「わかりやすく一・える」

②前に言ったのと違うことを言う。口約を破る。〈日葡辞書〉

『広辞苑』第六版

〔言い換えること〕 saying in different words; saying in a different way;

〔言い換える言葉〕 a word [words] used to replace # another word [other words].

『新和英大辞典』第5版

(1) いっぽうでお客になった際の不合理を自ら創り出しているのではないだろうか。不合理を体験しているから、逆にその不合理を回避する術を知っているようで、実はそれを実行しない。やられたらやり返すという意識があるとは思わないが、どこか経験を学びとしていない。人のことを意識せずに自分の思うままに行動する。言い換えれば身勝手というものなのだろうが、これほど仕事で不特定多数の人たちと関わる時代になったにも関わらず、昔とは違う人間関係がそこには存在する

KOTONOHA「現代日本語書き言葉均衡コーパス」Yahoo!ブログ(2008)

(2) 大きな責任を引き受ける者の報酬は、高くなければならないのである。通常いわれているハイリスク・ハイリターンとは、大きな損失を被る責任を引き受けているから、万事がうまくいったときにはハイリターンで報いようということであろう。そうであれば、それはハイリスク・ハイリターンというよりは、むしろ「ハイリスポンシビリティ (= High - Responsibility) ・ハイリターン」と言い換えたほうがよいと思われる

のである。投資ファンドで重要なことは、資金を集めるということではない。最も重要なことは、ファンド運営者の投資対象を選ぶ「選択眼」であり、その能力である。これは、対象を評価・審査する能力と言い換えてもよい。

KOTONOHA「現代日本語書き言葉均衡コーパス」三國仁司(2001)
『不動産投資ファンド』東洋経済新報社

辞書に見るように、「言い換え」という言い換えマーカールの前後で、(1)のように「自分の思うままに行動する」ことを「身勝手」と表現するような等価のものへの言い換えと、(2)のように「ハイリスク・ハイリターン」から「ハイリスポンシビリティ」へと異なるものへの言い換えるの2種類があることがわかる。

2. 言い換えるの体系

2.1. 3つの種類

言い換えるに関する言語学的研究を概観すると2つのアプローチがある。一つは「意味が近似的に等価な言語表現の異型」(呉 2008 等)で、もう一つが、「近似的表現(Approximation): 正しくない知っているが、話を満足させるには十分な意味的特徴を共有する目標言語の単語や構文を使用すること」(Tarone1981)である。この2方向は、前節の辞書の定義とは異なるアプローチだが、文脈上は「等価のものへの言い換える」を分析したものである。

2.2. 語彙的言い換える

呉(2008)を引用すると、「等価な言語表現の異形」としては、語彙的言い換えるがある。

- (3)「妻」に対して、「家内」「ワイフ」「お連れ」
- (4)「便所」に対して、「トイレ」「お手洗い」「化粧室」
- (5)「入手する」に対して、「手に入れる」
- (6)「マクドナルド」に対して、「マック」「マクド」

「妻」の「ワイフ」は外国語への言い換える、「便所」の位相、「入手」の「手に入れる」は漢字語彙から和語への言い換える、「マクドナルド」では、略語で言い換える手法である。この他に、日本語教育の観点から言えば、語彙の難易度を変えての言い換えるもこの範疇であろう。

2.3. 統語的言い換える

再度、呉(2008)を引用すると、構文的言い換えるとして、能動文と受動文の言い換える(7)、自他動詞の交替(8)、サ変動詞から動詞相当句(9)、格の交替(10)、主辞交替(11)、品詞交替(12)が挙げられている。

(7)「太郎は花子を愛しています。」に対して、「花子は太郎に愛されています。」

(8)「イギリスが領地を拡大した」に対して、「イギリスの領地をが拡大した」

- (9) 「経済学を勉強している」に対して、「経済学を学んでいる」
- (10) 「バイクが自転車と衝突した」に対して、「バイクと自転車が衝突した」
- (11) 「資源利用の効率化が急務である」に対して、「効率的な資源利用が急務である」
- (12) 「部屋が十分暖まっている」に対して、「部屋が十分暖かい」

2.4. 語用論的言い換え

「等価」とは言えない言い換えもある。Tarone(1981)では、「コミュニケーション時に起こった問題を乗り越えるコミュニケーションストラテジー」として、「近似的表現 (Approximation) : 正しくない知っているが、話を満足させるには十分な意味的特徴を共有する目標言語の単語や構文を使用すること」をあげている。この点については、小野・守時・田村・山下(2015)にて、「言い換え」を語彙的な知識に関わる9種類と、ストラテジーを含めた述べ方に関わる6種類に分類したが、特に「正しくない知っているが、話を満足させるには十分な意味的特徴を共有する目標言語の単語」という点について、以下の例を挙げたい。

- (13) A : 財布、忘れちゃった。
B : 財布って？
A : お金のこと。

「財布」と「お金」が等価でないことは自明だが、会話参与者 B が、発話の状況や聴者の言語能力を鑑み、「財布」の実質的意味として、よりわかりやすい語彙の「お金」に言い換えるコミュニケーションは、Tarone の主張に肯くものである。

3. 分析

3.1. 言い換えモデル

発話での言い換えについて、ここでは、以下のモデルを示す。

〔図1〕 言い換えモデル



考えたいことは、次の2点である。1) 言い換えマーカーには何があるのか。2) 前件と後件の関係はどうなっているのかということである。

3.2. 言い換えマーカー

石黒 (2011) では「すなわち」「つまり」「要するに」を「言い換え」の接続語としている。本稿ではこの三語から『広辞苑』第六版を利用して、類義語の検索を行う。この3語はいずれも、辞書の記述では「①他のことばで言う。言いなおす」の用法に相当するものである。「すなわち」の『広辞苑』の記述は(14)のとおりである。

(14) すなわち：(上をうけてさらにその意を再び明らかにする語) いいかえれば。とりもなおさず。

(14) から「言い換えれば」と「とりもなおさず」が項目化される。「言い換えれば」は辞書見出しとしてなかったため、さらなる検索語はなしとする。「とりもなおさず」の見出しには「それがそのまま」が新たに見られた。

(15) とりもなおさず：それがそのまま、すなわち。

同様の操作を繰り返した結果、以下の13語が上がった。

(16) 辞書記述からの抽出(50音順)：「言い換えると」「言ってみれば」「いわば」「かいつまんで言えば」「換言すると」「結局」「すなわち」「つまるところ」「つまり」「とりもなおさず」「畢竟」「要するに」「要約して言えば」

このうち「結局」「つまるところ」「畢竟」は「最後」という意味で、「とりもなおさず」は「結局」の意味に近いもののため除外する。また、辞書記述の「②前に言ったのと違うことを言う」ものについては、昨今使用頻度が高まっている「ていうか」(塩田 1998)も新たに加えた。同じ表現のバリエーションとも考えられるものもあり、次の9種類に分けた。

〔表1〕言い換えマーカー

9種類の言い換えマーカー
i) 「すなわち」
ii) 「つまり」
iii) 「要するに」
iv) 「言い換えると」「言い換えれば」「換言すると」「換言すれば」
v) 「いわば」「言ってみれば」
vi) 「要約して言えば」
vii) 「かいつまんで言えば」
viii) 「とりもなおさず」
ix) 「ていうか」

3.3. 前件と後件の関係—どのように言い換えるか—

石黒(2011)では、「すなわち」「つまり」「要するに」の三者を以下のように区別している。

- ① 「すなわち」は送り手の解釈を加えずに言い換える接続語
- ② 「つまり」は送り手の解釈を加えて、受け手にとって理解しやすいと思われる表現に言い換える接続語
- ③ 「要するに」は送り手の解釈を加えて、当該の内容の要点を取り出す接続語

この結論は一見正解に見られるが、しかしながら、(17)の例では「つまり」も「すなわち」も可能で、必ずしも石黒の指摘と合わない文も見られ、むしろ書き言葉と話し言葉の違いの要因もあるように思われる。

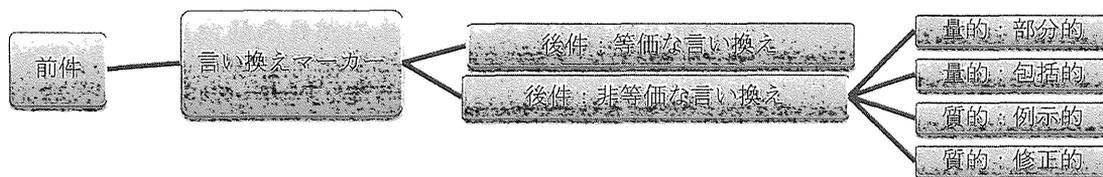
(17) 今度の行革は、カレーライスがライスカレーになったようなもの。【つまり】、1府12省庁となったけれど、言葉だけの置き換えという省庁の数合わせに終わっており、変わったように見えながら、実際には何も変わっていない。

(毎日新聞 1998/5/19)

そこで、CINII という学術雑誌を対象としたコーパス調査を行うと、「すなわち」の使用頻度が非常に高く、22,338 件にも上る⁽¹⁾。

本稿では「言い換え」とは何かの体系化を示すことを目標とすることから、以下のように考えたい。

〔図 2〕 言い換えモデルの体系案



まず、等価な言い換えとは、前件と後件が語彙・表現方法こそ異なっても情報量が同じものを言う。次に、非等価な場合には、量的と質的に分けて考え、量的な場合には前件の一部を言う、あるいは、前件を含めた包括的に言うことが考えられる。質的には、前件の情報量から、前件に関連づけて例を挙げる、あるいは、前件を修正的に述べることも考えられる。

4. その他の言い換え方法

前節までで、「前件→言い換えマーカ→後件」という構造から分析を行ってきたが、実例を見ていて、以下のような表現も、言い換えと言えるのではないかと考えたい。

(18) 葛西紀明選手が 18 日インタビューに応じ、団体戦の表彰式で泣いた理由や 4 年後の平昌（ピョンチャン）五輪（韓国）への夢を語った。涙を流した一番の理由は、血管の難病を患っている可能性が高い竹内択への思いだった。「択の病気が気になっていた。今季のワールドカップの開幕からせきをしていて。肺炎になった。入院して、体重も落ちて。そういうつらさを見てきた。最後の最後に団体戦のメンバーを自分の力で手に入れたから、絶対にメダルを取らせたかった」と気遣った。重圧を振り払えた

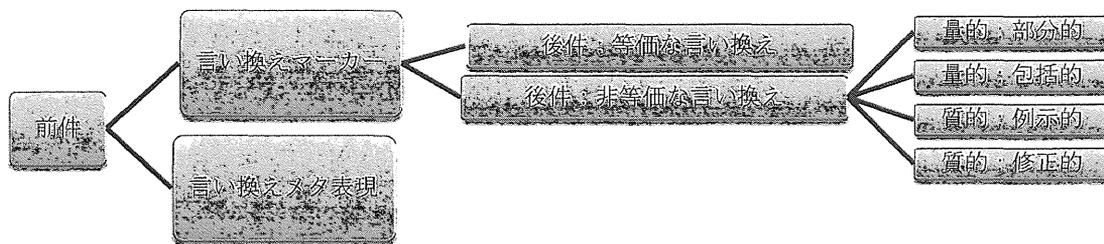
要因は「責任感」だという。

耕論トリプルアクセラと日本人 増田明美さん、末國善己さん、鈴木大地さん

<http://www.asahi.com/articles/DA3S10986434.html>

この「気遣った」という表現は、直前の「「扱の病気が気になっていた。今季のワールドカップの開幕からせきをしていて。肺炎になった。入院して、体重も落ちて。そういうつらさを見てきた。最後の最後に団体戦のメンバーを自分の力で手に入れたから、絶対にメダルを取らせたかった」を1語で言い換えたものであろう。そこで、3.3節の〔図2〕言い換えモデルの体系案を修正して、〔図3〕言い換えモデルの体系修正案を提示したい。

〔図3〕言い換えモデルの体系修正案



5. まとめと今後の課題—日本語の言い換えの特徴の記述に向けて—

なぜ言い換えを行うかという問いに対しては、Grice(1975)の「協調の原理:会話の中で、発話者は自らの発話を、当該会話の当該段階においてその会話に参加している人たちによって受け入れられている会話の目的や方向に適うようなものにする」とに遡ることができよう。話者は聴者がより理解ができるように、意図的に協調の原理⁽²⁾を用いるのである。

今後、なぜ言い換えを行うのかという問いに向き合いたいが、Grice(1975)を援用すれば、「抽象的な表現」を「具体的な表現」に言い換えるならば量の原則に該当するであろうし、「語彙的難易度の高い表現」を「語彙的難易度の低い表現」、あるいは「詳しい表現」を「簡潔な表現」に言い換えるならば、様態の原則に関わるものとなる。この原則がどのような発話の状況働くのかを見ていくことは、言い換え研究にとって意味のあるもので、現在注目を浴びている「やさしい日本語」(田中英輝・庵功雄・イヨンスク・森篤嗣編(2013))等とも強い関わりがある。また、臼倉(2009)の指摘も興味深いものである。

(19)日英語の言い換え表現には異なる特徴がある。一つ目はその頻度である。日本語も英語も言い換え表現は存在するが、その頻度は日本語よりも英語の方が高い。二つ目に、ある名詞が繰り返し言い換えられるとき、英語ではそのつど異なる名詞を使用する傾向があるが、日本語の場合英語と較べて同じ名詞が繰り返し使用される。

言い換えは、ストラテジーに関わるものと、明示的知識に関わるものがある(小野・守時・田村・山下(2015 予定))。また、言い換えの単位としても語彙単位、文単位があり、

どのように体系化すればいいかについて、今後も論を深めたい。

注

(1)参考までに他の数値を示す。

8種類の言い換えマーカ	CINIIに見られる件数
「すなわち」	22,338件
「つまり」	5,383件
「要するに」	285件
「言い換えると」「言い換えれば」「換言すると」「換言すれば」	101件、727件、44件、247件
「いわば」「言ってみれば」	1,206件、6件
「要約して言えば」	0件
「かいつまんで言えば」	0件
「ていうか」	9件

(2)協調の原理・4つの下位原則は以下の通りである。(山岡・牧原・小野(2010)より)

量の原則

1. 発話に（会話の目的にとって）必要なだけの情報を盛り込むこと。
2. 発話に必要以上の情報を盛り込まないこと。

質の原則

真実であることを発話すること。

1. 虚偽であると思っていることは言わないこと。
2. 十分な証拠がないことは言わないこと

関連性の原則

関連性のあることをいうこと

様態の原則

明瞭な言い方をすること

1. 不明瞭な表現を避けること。
2. 多義的な表現を避けること。
3. 簡潔にいうこと（不必要に冗長な言い方をしないこと）。
4. 順序良くいうこと。

参考文献

- 石黒圭 (2001) 「換言を表す接続語について：『すなわち』『つまり』『要するに』を中心に」『日本語教育』110, 32-41
- 伊東美智留(2011)「協調の原理と日本語の「言い換え」表現について—ラジオのトーク番組から—」『創価大学別科紀要』(21), 70-83
- 白倉美里(2009)「日本人英語学習者の言い換え表現の理解-明示的知識の必要性を探る-」『學苑』828, 昭和女子大学,A73-A82
- 梅澤実 (1999)『「ていうか」の使用心理から探る中学生の友人関係』『日本語学』第18巻第14号 明治書院

- 小野正樹・守時なぎさ・田村直子・山下悠貴乃(2015 予定)「日本語学習者の「言い換え」について—語彙知識とストラテジーに注目して—」『「ヨーロッパ日本語教育 (Japanese Language Education in Europe) 発表・報告論集』ヨーロッパ日本語教師会 (AJE)
- 蒲谷宏 (1982)「『言い換え』に関する基礎的考察—『換言論』の提唱—」『国語研究と資料』
- 呉浩東(2008)「語彙・構文的言い換え表現の自動生成」『情報科学研究』第25号』獨協大学情報センター, 95-99
- 塩田雄大(1998)「ことば・言葉・コトバ「ってゆーか」」『放送研究と調査』1998.3、57
- 田中英輝・庵功雄・イヨンスク・森篤嗣編 (2013)『やさしい日本語は何を目指すか』
- 田中牧郎(2013)「日本語の攻防 語彙 外来語とその言い換え」『日本語学』32(4),明治書院, 74-82
- 永田良太・大浜るい子(2011)「道聞き談話における日本語母語話者と日本語学習者の言語行動の比較—「繰り返し」と「言い換え」に着目して—」『教育研究ジャーナル』第8号, 中国四国教育学会,41-50
- 野原ゆかり・高村めぐみ(2011)「日本語学習者の発話における非流暢性に関する一考察 :言い直しとポーズに注目して」『人間文化創成科学論叢』第13巻,お茶の水大学,117-125
- 林千賀(2007)「「ってゆうか」は単なる意味のない前置き表現か—意味の観点から—」『国際文化研究所紀要』12, 城西大学, 75-90
- 丸山岳彦 (2008)「「日本語話し言葉コーパス」に基づく言い直し表現の機能的分析」『日本語文法』8(2),日本語文法学会,121-139
- 山岡政紀・牧原功・小野正樹 (2010)『コミュニケーションと配慮表現—日本語語用論入門』明治書院
- Tarone,E.(1981) Some thoughts on the notion of communication strategy. *TESOL Quarterly*, 15, 286-287

辞書

『広辞苑』第六版 岩波書店

使用データ

中納言 KOTONOHA「現代日本語書き言葉均衡コーパス」国立国語研究所
CiNii Articles - 日本の論文をさがす - 国立情報学研究所

(小野正樹、筑波大学人文社会系教授、ono.masaki.ga@u.tsukuba.ac.jp)